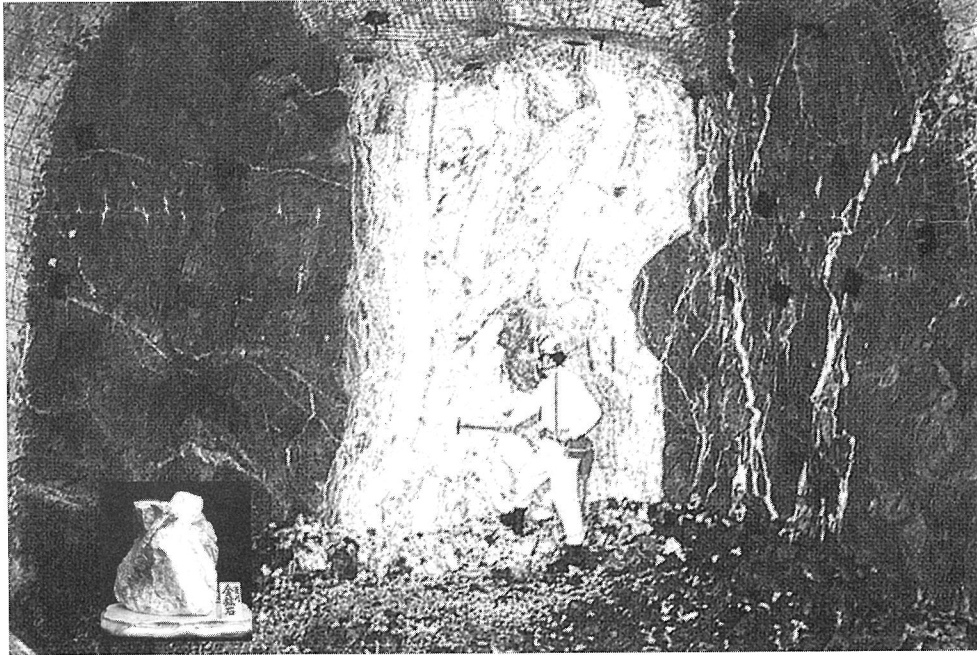


日本産業衛生学会東海地方会

地方会ニュース

発行所 地方会ニュース編集事務局
 〒 470-1192
 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
 藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学教室
 室内 電話 (0562) 93-2453
 FAX (0562) 93-3079
 発行責任者 竹内康浩・島 正吾

(題字 皿井 進筆)



菱刈鉱山の品位100グラム／トンの金鉱脈と採掘された金鉱石

故郷

鎌田 隆 (本田技研工業浜松健康管理センター)



明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。20世紀最後の一年となりましたが果たして今年はどうなるのでしょうか？昨年11月、33年毎に起こる「獅子座流星群」の天体ショーは事前の報道のような流星雨は残念ながらこの目で観察出来ませんでした。皆様はいかがだったでしょうか？満天の星空を仰いでいます

と想いは空の彼方へと故郷の事が思い出されます。私の故郷、菱刈は日本一星空の美しい町にも選ばれた鹿児島県北薩地方の、とても寒い氷も張り雪も積もる鄙びた温泉町です。町の中を流れる川内川の河底には「ちすじのり」という天然記念物に指定されているひじきのような川藻が生育し、川床からはぶくぶくと温泉が噴き出していました。今はどうなっているのかなと幼年時代に泳いだ川を案じながら懐かしく思い出しています。又、この故郷には素晴らしい金鉱山が1985年に開発され今も操業しています。

金は貴金属の中でもその美しい輝きと優れた安定性で、古代から現代まで富と権力の象徴としても、エジプトのツタンカーメン王の黄金のマスクや金棺 (230kg) など、日本においては中尊寺金色堂や金閣寺などの建造物で広く知られています。また、工業分野での用途も広く、ジュエリーとしても珍重されていることはご承知の通りです。霧島火山群の西北部の北薩地域は焼酎の産地としても知ら

れていますがこの山地の谷間のおよそ200mの地底の温泉源となっている浅熱水金鉱床から菱刈金鉱石は産出されています。推定金埋蔵量は約200トンと言われ、これまで日本一の産出量の佐渡金山の75トンをはるかに凌ぎ、鉱石1トン当たりの含金量80gは世界一の超高温品位とのことです。マルコ・ポーロは東方見聞録に黄金の国ジバングは「屋根は全部黄金で葺かれており、床は純金の板を敷きつめている」と、やや誇張して記述し、ヨーロッパに紹介したためか、コロンブスや多くの探検家が東洋を目指して航海に挑み、新大陸発見という偉業も成し遂げました。1991年迄に世界中で採取された総含金量は一辺が19mの立方体(約13万トン)になるといわれていますがその価格は如何ほどになるのでしょうか？限りある資源なので大事にしたいものです。淡路島には“故郷創成”の一億円の金塊が展示されていると聞いていますが、この不況下の我が家では2ppb含有の鉱石を飾って眺めるのが精一杯のようです。

B・ラマツィーニは「働く人々の病気」の著書の中で、使用物質の有害性と、今でいう作業・環境管理の悪さの二つを、巧い表現で病気の原因として述べていますが、現在においてもまさしくその通りだと思っていますので、職業病や作業関連疾患の予防には十分注意しなければいけないと肝に銘じています。

全ての職場においてより良い快適な作業環境を維持出来るように、産業保健に係わる一人として今年も微力ながら頑張りたいと思っています。

平成10年度 東海地方会学会を担当して

学会長 祐田 泰延 (静岡県立大学薬学部産業衛生学教室)



日時：平成10年11月 6日(金) 9：30～16：50

場所：あざれあ (静岡県女性総合センター)

一般演題はB会場、C会場の2会場において、それぞれ14演題の合計28演題が午前の部として発表された。B会場では主として健康管理上の衛生行政および評価法等、C会場では作業環境

と作業者の生活習慣と健康との関連性等の健康影響に関する基礎/応用研究の成果が発表され、活発な質疑応答が行われた。午後の部として、特別講演およびシンポジウムがA会場において実施された。特別講演では松島教授は免疫と疾病との関連の解明を研究テーマとして分子生物学的なアプローチを展開して数々の成果を挙げ、それらに基づいてケモカインを中心に講演され、若手研究者に感銘を与えた。また、シンポジウムでは「ライフスタイルと免疫機能との関連性」というテーマで斯界で著名な4人のシンポジストご自身の研究から見た最近の免疫およびアレルギーに関する基礎的/応用的研究をそれぞれ紹介頂いた。各シンポジストのご研究の重みを感じる講演を聴講したのち、特別講演者、シンポジストを交えパネルディスカッションを行った。以下にその概要を示す。

特別講演

「免疫から見た生体侵襲の分子的機序」

松島綱治 (東京大学医学部衛生学教授)

座長：竹内宏一 (浜松医大・公衛)

シンポジウム

司会：祐田泰延 (静岡県立大・薬・産衛)

吉田 勉 (藤田保健衛生大・医・公衛)

「ライフスタイルと免疫機能との関連性」

シンポジスト

ライフスタイルと免疫・アレルギー

森本兼彙 (大阪大学医学部環境医学教授)

製茶業従事者の呼吸器疾患に対する免疫学的アプローチ

白井敏博 (富士宮市民病院内科科長)

喘息とPAF

和久敬蔵 (帝京大学薬学部衛生化学教授)

最近の免疫毒性評価と問題点

畑尾正人 (資生堂安全分析センター参事)



(一般演題発表)

一般演題

内 容	演題数	内 容	演題数
評 価 法	5	ストレス検索法	1
健康管理システム	7	健 康 影 響	5
環 境 管 理	5	生 活 習 慣	5
合 計 : 28題			

平成10年度日本産業衛生学会東海地方会学会：参加者数 (非会員数)

参加者 (県別)	静岡県	愛知県	三重県	岐阜県	東京都	その他	合 計
産 業 医	67(0)	10(0)	2(0)	0	1(0)	0	80(0)
勤 務 医	2(2)	5(5)	0	0	0	0	7(7)
研究教育職	8(4)	10(0)	2(0)	3(0)	3(2)	1(1)	27(7)
そ の 他	14(14)	3(3)	0	0	0	0	17(17)
病院薬剤師	45(45)	0	0	0	0	5(5)	50(50)
合 計	136(65)	28(8)	4(0)	3(0)	4(2)	6(6)	181(81)

ヒトは人生のほぼ半分の期間を労働環境で過ごすことから、高齢化社会を迎え産業衛生の重要性が増してきている。こうしたなか、平成10年度東海地方会学会をお引き受けすることとなり、静岡県選出の理事の方々のご協力のもと第1回準備会が3月5日、第2回準備会が4月26日に開催され、特別講演、シンポジウム(案)が決定された。産業衛生は学際的な分野として今後の発展が期待される分野であり、薬学系でも非常に関心の深い分野の一つで良いチャンスを与えて頂いた。今回、製薬企業、地方衛生研究所、静岡県中部の国公立病院薬剤師等にも参加を呼びかけ、将来の取り組むべき課題を探って頂いた。また、一般演題では上記の表にも示したように生活習慣との関わりの研究発表も数多く活発な討論が展開された。また、健康影響では生殖毒性に関する研究、神経毒性では継世代影響に関する研究、評価法に関する研究では培養細胞株による知見、コンピュータによる統計評価等で基礎から応用あるいは応用から基礎へと研究領域の広がりと研究手法の開発等大変実り多いものであった。なお、演題の分布は健康管理システムに関するものが合計7題、健康影響、評価法、生活習慣、環境管理に関する研究がそれぞれ5題の合計20題、ストレス検索に関する研究が1題の総計28演題であった。また、本学会への参加者は181名で、その内訳は上記のようであった。

最後にこの機会をお与え頂いた清水善男理事並びにご協力を賜りました理事会の方々、会員諸氏に厚くお礼を申し上げます。



(松島綱治 先生)



(森本兼彙 先生)



(シンポジウム)

新春随想

なんとか



後藤 義明 (ブラザー工業)

私は平成5年に産業医科大学を卒業しました。産業医科大学には、卒業後の一定期間を産業保健の調査研究や産業保健実務研修に従事し、終了後はすぐに第一線で活動できる産業医を養成するため、いくつかの研修過程が

設けられています。私はその一つの「産業保健研修コース」という研修過程で、5年間のトレーニング期間を過ごしました。

大学院等における2年間の臨床研修の後、千葉県の製鉄所における1年間の事業所研修では、初めて産業保健の現場に触れることになりました。この時、臨時的な考え方に慣れていた私を、産業医学的視点へ180° 転換して下さったのは、大学の先輩でもある産業医の先生方でした。その後の2年間は産業医科大学に戻り、疫学研究の基礎を学ぶ一方で、中小事業場や分散事業場における産業医業務も経験しました。そして、昨年5月の研修過程終了と同時に、出身地名古屋で、ブラザー工業に専属産業医として勤務しています。

また8月には日本産業衛生学会の専門医試験を受験し、不勉強にもかかわらず、何とか合格することができました。専門医試験は受験資格が厳しいのですが、幸い私の場合は5年間の研修過程が受験資格を満たすようになっています。逆に(それゆえ?) 周囲からは、専門医試験イコール研修過程の卒業試験のように見られていましたので、合格した時は、なんとか卒業証書を受け取ることができたと安堵しました。指導医をはじめ、ご指導いただいた先生方に深く感謝いたします。

専属産業医という多くの人に対して責任ある立場となり、また専門医として認められた今、なんとか産業保健のスタートラインに立てたところでしょうか。今後も専門医の名に恥じぬよう前進していく所存ですので、よろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

季節のイメージ・・・新春



杉浦 静子 (三重県立看大)

ある事象をどのように感じるか? という一つの側面に「イメージ」があります。imageをコンサイス英和辞典で引いてみますと、次の五種類の訳語がありました。1. 肖像、2. 姿、形、3. 映像、4. 心像、5. 文彩です。

これらのうち、「どのように感じるか」は心像に当たります。心像を岩波国語辞典で引きますと、「知覚によってその場で生ずるものではなく、意識に現れる像」とあります。

かつて私は、「ある疾病に関連して、どのようなイメージをいだくか」を調査していた時期がありました。当時、これを疾病観と名付けておりました。ある疾病に対して、保健医療従事者は生物学的・病態生理的イメージを抱いていますが、一般の人々は、その病気の社会的評価やVulnerabilityに基づくイメージを持っていることを明らかにしました。このイメージの落差が一般の人と保健医療従事

者との溝になっていることから、健康教育・保健指導において教示型から相談援助型への転換をはかる契機となりました。

ところで、季節のイメージにも個人差が大きく、そこから生じる生活行動にも差異が出てきます。新春一晴れ着一おせち一およばれのイメージの人もいれば、正月一お屠蘇一こたつ一みかんの人もいられるでしょう。これらのイメージによって、お正月休み中のライフ・スタイルも決まってきます。暮れまでは、せっかく築いてきた好ましいライフ・スタイルが、お正月で元の木阿弥にという例も耳にします。その復元には数週から数ヶ月のエネルギー投入を要するかもしれせん。

季節のイメージは、その時代背景によっても変化します。今日のリストラ、倒産、不景気の風がどのような変化をもたらし、それが健康問題にどんな影を落すのでしょうか? それを、目をパッチリ開けて見極めたいものです。

子供の骨折



城 憲秀 (名市大・医・衛生)

新年あけましておめでとうございます。ここ数年の不景気風のおかげで「おめでとう」という言葉も吹き飛ばされそうですが、今年こそは良い年になってもらいたいものです。

さて、私は1997年9月より昨年9月まで米国ボストン近郊にあるタフツ大学心理学科のミチュク教授の下で心理社会的ストレス負荷と脳内ドーパミンの濃度変化に関する動物実験を行って参りました。この間日本から来るニュースは経済悪化に関する話題が多く、私たち家族も円安のあおりを食いました。

ところで、滞米中とんだ災難が私の長男に降りかかりました。アメリカに渡って2か月ほど経ったときです。小学校横の広場で遊んでいるとき、滑り台から落ち、左前腕骨とも見事にまっぶたつ。救急車に乗るは、病院へ行くはで、てんてこ舞いになりました。病院では事故の状況を聞かれた後、primary physicianの名前、保険の種類を詳しく尋ねられ、医療・保険制度の違いを実感しました。手術の必要性があるかもしれないとのことで転院し、再度、検査と診察。主治医からは骨折の状況と今後の処置・治療の種々の可能性について丁寧に説明され、さらに手術室への入室前には執刀医、麻酔医、nurse practitioner、看護婦等からそれぞれの役割の説明を受けました。私たち一家が言葉も満足にできない外国人であったことや多くの医療訴訟という背景があることを加味しても、患者に関する情報は患者に与えるという基本姿勢にはひじょうに感心しました。患者に対する情報提供は医療についての患者の理解を深めるばかりではなく、患者側も行われる医療行為に対して責任を有することになり、医療を進めるうえで医師・患者双方の信頼関係が築けるのではと感じました。事故という不幸なことでしたが、そのおかげでアメリカの医療制度の一部をかいま見ることができました。もっとも全般的には研究面でも生活面でも日本ではできないことを経験し、楽しく過ごせた1年間だったことも申し添えます。



長寿社会と健康生活



佐々木千早 (寿康苑佐々木医院)

明けましておめでとうございます。
年の初めにあたり一言。1999年は国際的に長寿の年と言われます。労働人口の高齢化、少子化、など何となく悪い響きが世の中を流れていますが、それほど悲観したものではないと思います。

古来より「不老長寿」は悲願でした。それが現実となり、瑞兆と思われまふ。不老不死は欲張り過ぎた望みではありますが、せめて長寿であり、その間は元気で、健康で、よく動き、よく働き、よい生活を楽しみ、美しい人生を全うすることが出来れば極めてよろしいことでしょう。医療費がどうの、保険財政が逼迫したの、介護保険が急務だ、その財源を確保せねばとか、食糧が乏しくなり住む所が無くなるとか、ストレスが蔓延して人々がいがみ合わねばならぬなど、悪いことばかり心配すると、世の中はますます暗くなり、年をとることが罪悪視されることにもなりかねません。徒に馬鹿を重ねるとも言われますが、それぞれにキャリアを積み、世の為人の為に尽せるのだと祝福してあげたいものです。数々のその人ながらの業績を積み、魅力溢れる活動に明け暮れしようと意を強く持ちたいものです。その人の仕事はその人の人生を造る。その社会的価値は健康度で評価されるもの。自らの人生は自らの手で築くもの。早々と他力本願にならないでほしい。我々社会も大いに協力出来るよう生活環境を整えてゆかねばなりません。徒に驚馬に鞭打ってはなりません。老若男女各々その持ち味を發揮し、理解とを共感を深めてゆきたいものです。高齢者発症の要因は、環境、時間、遺伝子と言われます。免疫機能を落とさぬよう医学的に心掛けたいもの。働かず依存的生活を払拭して、若い人々の力や財力をあてにしないでゆきたいものです。職場でも家庭でも、生活の場の1/3は社会と共にあります。世の人々に介護保険を期待させるような弱気を起させない健康度をこれからの医療人、特に産業医は心がけ、産業医学プライマリーケアの研修に努力してゆきたいものです。

新春によせて



杉山 淑子

(住友ベークライト(株)静岡工場)

1999年、今世紀も終わりなら、国の内外に激しい変化が予想される。今年こそ、地につけて確実に歩みたいと願っているが、生来のおっちょこちょい故、例年と同じくバタバタと過ぎ去って行くに違いない。今年は、産業衛生学会に入会させて戴いて初めての正月、そして産業看護講座・基礎コースを受講中。おかげで多くの方々から良い刺激をいっぱい戴いた。講座課題の調査研究も無事に期限内に発送出来、その調査結果は、早速、秋の健康診断の結果報告に反映出来そうで、いま私の胸の内で暖かい。

従業員600名余の化学工場の保健婦として勤務し始めて3年目、とても幸せなことに、次第にこの工場が好きになってきている。去年の年賀状には、“安全靴とヘルメットの似合う保健婦になりたい”と書いてしまったが、最初は、固く辟易していた靴も、今ではすっかり足に馴染み、靴底がこの工場特有の樹脂と溶剤により少々べたついてきても、それをうれしく感じるから不思議である。

当工場は、市の誘致もあって昭和37年、大井川の豊富な伏流水と横に鉄道が1本という地理的条件を基に、広大な田園の中に造られた。今で云うなら、大卒だけを雇用するという感覚で地元の高校新卒者を多数採用。幼稚園からずっと一緒という人もいて、創設期の躍動感、景気急上昇の頃の昂揚感・達成感を今も大事に、要の中堅として懸命に工場を支えている。公務員の家庭に育ち、自身も公務員生活10年を経験してきて、転勤・転校あたりまえという感覚だった私には、これは驚くべきことであった。その彼らも50才を悠に越した。課題は後輩の育成だが、先輩としての貫録充分な人達だからきっと大丈夫だろう。見習うべきは、彼らの愛社精神だ。

そして、私は、この工場にいっぱい先生を見つけた。難解な化学式の名解説者・パソコン裏技の達人・哲人統計学者等、工場人材マップが頭の中で更に広がる。それが、私には一番のお年玉である。

東海地方会役員選挙結果

山田琢之(日本産業衛生学会東海地方会選挙管理委員長)

「50音順・敬称略」

東海地方会長	竹内 康浩							
本部理事	島 正吾	鎌田 隆	竹内 康浩					
本部評議員								
(愛知)	青山 光子	芦原 睦	飯田 英男	井谷 徹	市原 学	伊藤 圓	伊藤 宣則	
	入谷 辰男	岩井 淳	荻田 佳子	小野雄一郎	柏木 時彦	加藤 竹男	加藤 幸久	
	栗田 秀樹	小林 章雄	小森 義隆	近藤 正人	後藤円治郎	五藤 雅博	榊原 久孝	
	佐久嶋順平	柴田 英治	高柳 泰世	武井 禮明	城 憲秀	巽 あさみ	谷脇 弘茂	
	土屋 博信	寺澤 哲郎	徳留 信寛	長岡 芳	永谷 照男	服部於菟彦	早川 律子	
	堀部 博	牧野 宣一	松本 忠雄	宮尾 克	村山 尚子	山田 信也	山田 琢之	
	吉田 勉	渡辺美寿津	和田 晴美					
(静岡)	青山 京子	足立扶佐子	稲垣 道子	井上 潔	白田多佳夫	後藤 猛	斎藤 俊二	
	清水 善男	住吉 健一	竹内 宏一	土屋真知子	武藤 繁貴			
(岐阜)	井奈波良一	岩田 弘敏	加藤 保夫	川上 憲人	花井喜一郎			
(三重)	大久保浩司	木下 勝也	小西 泰元	中尾 一吉	山内 徹			

第57回日本公衆衛生学会総会を終えて

学会長 岩田 弘敏 (岐大・医・衛生)



第57回日本公衆衛生学会総会が、平成10年10月28～30日、岐阜市（長良川国際会議場、未来会館、メモリアルセンターのドームなど）において開催されたが、好天にも恵まれ盛會裡に終了できた。招待者も含めて参加数は約4,200人であった。

会員の脳裏に残る学会にするにはどうすればよいかを念頭に入れながら役員一同、企画した。そのためか、従来にない、新しい試みに挑戦することができた。

昨年、日本公衆衛生学会評議員に対して行ったアンケート結果を尊重しながら、理事会のご了承を得て、まず、いままでの重量感のある抄録集を半減させることができた。この半減した抄録に基づく「一般口演発表」では、何枚もの図表を提示しながらできる「示説発表」とに不公平さがでてくる。示説発表に見合う一般口演するにはスライドもしくはOHPを用いなくてはならず、それでは事務的負担が大きすぎる。また、従来一般口演は同じ時間帯、10カ所を超す分科会に分れているので、同一機関の発表が他の分科会になっていたり、他の分科会に興味があり、そこへ行きたいとき、時計を見ながら、移動しなくてはならない。一般演題以外のシンポジウムや教育講演なども聞けない。こうした問題点を是正するには、すべてを「示説発表」にし、それも時間帯を決めて一つのホールに一堂が会するようにしてはどうかということになった。そうすれば、同

じ場所でじっくり討論でき、学会としては実りあるものになるのではないかと考えた。約1,270の演題が応募された。なお、そのうち一部だけ、ミニシンポジウムを組んだ。

開会式直後の学会長講演として「これからの公衆衛生のサイエンスとアート」を行った。その後、総会議事に移った。そのころから、メインホールは超満員となった。特別講演には、これからの新しい公衆衛生活動へのインパクトになればと考え、日比野省三先生に「ブレイクスルー思考と公衆衛生」、日野原重明先生に「生活習慣病の歴史と21世紀における、この病気への対応」を依頼した。

初日のシンポジウムは「公衆衛生の科学と技術の未来像」と「課題解決型と地域づくり型の地域保健活動」、2日目は「公衆衛生活動の評価」、3日目は「公衆衛生と倫理」の計4題であり、いずれも、これからの公衆衛生の戦略、評価法、配慮すべき倫理としたが、会場はいずれも超満員の盛況であった。

教育講演は感染症、運動、老人性痴呆、思春期のメンタルヘルス、母子健康といずれも時宜（じぎ）を得たものを選定した。会場が狭かったせいか、ここも超満員であった。

学会奨励賞は今回5名が受賞された。その受賞講演も行った。行政側の受賞者が多かったためか、盛況で準備した500席の腰掛けでは不足するほどであった。

ご参加、ご協力に心から感謝の意を表したい。

井田龍三先生を偲ぶ

花井喜一郎 (イビデン株式会社診療所長・岐阜産業衛生研究会会長)



井田 龍三 先生 御逝去 享年84歳

将に巨星落つ、先生には昨年10月6日朝、突然永眠されました。(胸部大動脈瘤破裂)、時あたかも第8回産業医産業看護全国協議会(大阪)が開催され、続いて7、8、9日には神戸にて全国産業安全衛生大会が行われ、小生はこれに出席しておりましたが、7日夕連絡がつき、急遽中断して帰岐御佛前に参列致した次第です。思えば産業保健に関し今日的隆盛をみる世相と相成って参りましたが先生は早くから岐阜産業衛生研究会をまとめ、今日まで長らく、積極的に御指導を頂いて参りました。先生は常に学究的で、産業保健の今日、将来に対し、幅広く我々会員の進むべき道、やるべき事を的確に指示され、常に人には全人間的にみること、自己には人格的である道を説いておられました。我々会員一同は今後共、更なる御指導を期待し、特に近時先生を囲む会等が企画され、大変楽しみにしており、

又先生も意欲的に喜んでおられ、我々を暖かく見守った頂いておりましたのに、今に至り心から残念に思われます。更に現世へのその卓抜な高説を聞く事がもう出来なく、誠に痛切の感をいただくものであります。茲に会員一同沈痛な思いをなんとか振り切り、新しく一層の精進を誓うものであり、心から先生の御冥福をお祈り申し上げる次第です。

尚先生は、

1. 日本産業衛生学会評議員、東海地方会理事、学会指導医、日医認定産業医、岐阜産業衛生研究会顧問、岐阜産業保健推進センター運営委員、全国化学繊維協会会員であります。
1. 大正4年7月3日大阪にて御生誕、昭和14年京城大医学部卒、学生時代より陸軍軍医委託生、卒後軍医としてマレー戦線に御活躍、終戦後大阪陸軍病院に勤務、その後“日紡”大垣、垂井工場に移られ勤務、更に化学繊維工業会より化繊業界にて産業医活動を希望され、茲に「二酸化炭素中毒対策」の立派な業績を遂行されております。その後、更に“クラレ”、旭化成、簡易保険局岐阜医務部、岐阜労働基準連絡会、岐阜産業衛生研究会、等の顧問として今日に至っております。

この間多くの受賞をうけておられ、昭和40年岐阜労働基準局長賞を始め、中災防緑十字賞、労働大臣功績賞、黄綬褒章、久保田賞その他があります。

学会・研究会

産業疲労研究会・チェックリスト研修会

青山 京子 (静岡県金属工業健保組合)

第4回作業条件チェックリスト研修会が11月20日静岡県天竜市の(株)増田製作所を研修会場として開催された。全国の熱心な研修参加者11名と静岡県内の産業医3名、職域の看護職12名が参加した。実際に作業場を視、改善志向型チェックリストによる作業条件点検方法・チェック項目の作成方法・作業条件点検活動を改善活動に結びつけるための小グループ活動と、参加型の産業保健活動の意義を体験的に学ぶことができた。「頭でわかった」研修が現場で実践・活用されないことが往々にしてあるのが、自分のフィールドでやれそうな、やってみたくなる今回の研修であった。研修スケジュールがハイテンポにもかかわらず、事業所の絶大なご協力やコーディネーターの進行により、小グループ活動も意見が絡み合いながらダイナミックに展開した。また、自分の気づけなかった点について他者の意見を聞き、知識を得ることもできた。全体討議においては参加者の意見のやり取りに加え、事業所から職場改善の今までの経緯や経験に基づく発言があり、討議内容は深まった。(株)増田製作所の方々をはじめ、お世話・ご協力いただいた大学の方々、聖隷健診センターに深く感謝申し上げる次第です。

第43回職場精神衛生研究会

渡邊美寿津 (愛知医大衛生)

1998年11月20日、名大医学部鶴友会館にて、あるく相談室室長・小寺明美先生に『嗜癖と家族』のご講演をいただきました。お話しは、概念的な部分と社会福祉士としてのご経験を包括した内容で、医療と非医療が混在した「嗜癖業界」の一部を感じることができたと思っています。以下に簡単に内容を紹介させていただきます。

- 1) 嗜癖；物質嗜癖・プロセス嗜癖・関係嗜癖など嗜癖の、時代的背景を踏まえた疾病概念とモデルおよびAAについて、
- 2) 共依存；自己表現のために、他者又は他者の抱える問題やその関係に嗜癖すること。具体的にはアルコール中毒の夫と妻、借金を抱えたギャンブル好きの息子と母、摂食障害の娘と母など、心配をかける側と尻拭いをする側の、支配し支配される関係について。
- 3) アダルトチルドレン；アルコール家庭など機能不全家庭で成長した人の情緒障害や過剰適応など適応障害の問題について。

「アルコール中毒への対処」については①本人の気付き(動機づけ)②必要に応じた医療③不適切な支援(共依存)をしないこととされていました。嗜癖という行為の背景や社会的影響について考え、十分な論議を深める事ができました。次回は女性がテーマです。

第8回産業医・産業看護全国協議会

山田 琢之 (愛知医大産保科センター)

平成10年10月6日(火)に大阪国際交流センター(大阪市)において、第8回産業医・産業看護全国協議会が開催された(メインテーマ：環境と健康—新しい世紀をみすえて—)。今回の協議会は近畿地方会の方々のお世話で運営され、全国から多数の産業医・産業看護職

が出席した。会場は大きく4会場に設定。大ホールでは午前中に産業医部会の総会と特別講演2題が、午後は特別講演1題と、教育講演2題、シンポジウム、小ホールでは産業看護部会の後、基調講演とパネルディスカッションが行われた。他に、桜ホールと呼ばれる部屋では、ポスターセッションとランチョンレクチュア(落語で学ぶ生活習慣病)が企画され、当日券はあつという間になくなった。特に今回の協議会で、好評であったのが、2F・3Fの会議室で行われた新しい試みのワークショップ。合計10題のテーマに対して、賛成と反対にわかれて討議をするというものである。私自身は「産業保健におけるガン検診のあり方—職域癌検診は必要か、不必要か?—」に対して、不必要派でプレゼンテーションし、その後賛成派と討議をした。このように、今回の協議会は新企画が数多く盛り込まれ、大変に有意義で新鮮な会であった。

これからの諸行事予定

1) 第3回静岡県産業保健研究会

日時：平成11年1月22日(金) 13時～17時

場所：アクトシティー コンgressセンター 41会議室

プログラム：働く女性と母性、産業衛生スタッフに必要な安全の知識

2) 第44回職場精神衛生研究会

日時：平成11年2月12日(金) 14:00～16:00

場所：ルブラ王山

テーマ：働く女性のメンタルヘルス—法からみたこれからの課題—
建石真公子 (愛知学泉大学)

3) 産業医部会研修会

日時：平成11年2月19日(金) 14:00～17:00

場所：名古屋大学医学部鶴友会館

シンポジウム 主題「労働安全衛生管理システム」

司会：竹内 康浩 (名古屋大学医学部衛生学教授)

演者 高田 勲 (中災防労働衛生検査センター)

熊谷 謙一 (日本労働組合総連合労働対策局次長)

小出 勲夫 (トヨタ自動車安全衛生推進部主査)

4) 第3回職場肺疾患管理研究会

日時：平成11年3月13日(土) 14:00～16:30

場所：名大医学部 鶴友会館 2F大会議室

講演1 気管支喘息の診断・治療から生活指導まで

—職業性喘息も含めた最近の動向—

竹内 徳之 (藤田保衛大第2病院内科)

講演2 過敏性肺臓炎の病態とその成因について

山木 健市 (名大・医・第2内科)

症例1 プリント製造クリーンルームにおける過敏性肺臓炎の発生

〈臨床像〉 山木 健市 (名大・医・第2内科)

〈職場環境〉 柴田 英治 (名大・医・保健学科検査)

症例2 離の分別作業従事者における過敏性肺臓炎の発症例について

近藤りえ子 (藤田保衛大第2病院内科)

5) 第12回振動障害研究会

日時：平成11年3月13日(土) 午後1時30分から午後4時まで

場所：愛知県勤労会館2階 第1視聴覚室(鶴舞公園内)

演題：1. 日本産業衛生学会手腕振動許容基準改定案について

原田 規章 (山口大学医学部衛生学教室)

2. ISOおよびCENの手腕振動の許容基準と測定評価方法

前田 節雄 (近畿大学理工学部)

3. 振動障害患者の電流知覚閾値 (current perception threshold) 榊原 久孝 (名古屋大学医学部保健学科)

会 員 異 動

新入会

愛知 青井恒人 (中部電力)、伊藤小百合 (藤田保衛大衛生)、小川京子 (名古屋市職員健康管理センター)、古賀秀嗣 (新日鉄)、小林智子 (三菱重工小牧)、佐藤由利子 (愛知トヨタ)、柴田智生 (公衆保健協会)、杉田由樹 (愛知医大衛生)、館野文美雄 (館野クリニック)、中村明美 (三菱重工岩塚)、西谷直子 (東レ愛知)、丹羽さゆり (名古屋市大医衛生)、古井景 (愛知医大精神科)、安富いと (富士通サポートアンドサービス)、八谷寛 (名大医公衛)、山田哲也 (名大医衛生) 岐阜 近藤為成 (えんどう歯科)、傍島弘朗 (そばじま歯科)、長屋明美 (ソニー瑞浪)、横山強 (加茂医師会立総合保健センター)、吉田幸平 (加茂医師会立総合保健センター) 静岡 青山行彦 (青山歯科)、秋山純子 (NTT伊豆通信病院)、石田由紀 (聖隷健診センター)、市川容子 (大昭和)、宇野佳子 (グリーン歯科)、諏訪日出子 (東京電力沼津)、加藤泰子 (旭化成)、高木啓 (鷹岡病院)、滝道子 (大昭和)、床並房雄 (浜松労災病院)、目黒輝久 (立華工業)、山内秀樹 (本田技研浜松)、若宮俊司 (浜松労災病院) 三重 北村哲也 (東芝三重)、草川真弓 (富士通三重)、藤川勝彦 (津通信診療所)

転 入

愛知 伊藤健一 (安衛技術試験協会・関東地方会より)、中喜多実 (関東地方会より)、福成雄三 (関東地方会より)

退 会

愛知 渥美一成 (上飯田第一病院)、池上康男 (名大保体センター)、小川一成 (小川歯科)、小山明 (こやま歯科)、杉田誓子 (名古屋市医師会健診センター)、田中寿一 (半田市医師会健康管理センター)、中森英二 (中京大体育)、服部保次 (富士電気鈴鹿)、平松通徳、町田望 (名城大理工)、吉井寛 (名古屋市大医衛生) 岐阜 山岡京子 (社保健康事業団) 静岡 石川恵一 (浜北歯科)、山口雄一郎、山本和英 (共立湖西総合病院) 三重 榊原修 (日通)、水谷哲也 (倉本内科)、吉田恭子 (東芝三重)

転 出

愛知 北川恒実 (藤田保衛大リハビリ・関東地方会へ)、塚原照臣 (中部労災病院・関東地方会へ)、渡邊丈真 (愛知医大衛生・近畿地方会へ)

会 員 の 表 彰

労働大臣功績賞

月岡 幸雄 (日本軽金属)

謹 賀 新 年

財団法人 **愛知健康増進財団**
 会 長 安 部 浩 平
 理 事 長 赤 塚 邦 夫
 診 療 所 長 小 倉 幸 夫
 名古屋市北区清水1-18-4 TEL(052)951-3331(代)

瀬 岡崎市医師会公衆衛生センター
 岡崎地域産業保健センター
 人間ドック・集団健診・臨床検査
 〒444-0875 岡崎市奄美西1丁目9番1
 ☎0564 (52) 1572 (代表)

GHL 社団法人 加茂医師会立
総合保健センター
 〒505-0046 美濃加茂市西町7丁目169番地
 TEL (0574) 25-5324 FAX (0574) 25-0480

医療法人 **光生会病院**
 豊橋市吾妻町137番地

財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター
 所長 積 惟 貞
 〒410-8580 沼津市本字下一丁目895-1
 TEL(0559)62-9882 FAX(0559)52-1019

社団法人 **瀬戸健康管理センター**
 理事長 佐藤良寛
 〒489-0809 瀬戸市共栄通1丁目48番地
 TEL(0561)82-6194 FAX(0561)85-2466

医療法人 **愛知集団検診協会**
愛知健診所
 〒496-0048 津島市藤里町2-3-1
 TEL (0567)26-7328番
 FAX (0567)26-7994番

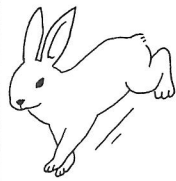
労働大臣認可
 瀬 株式会社 **オリエンタル労働衛生協会**
 会 長 鈴 木 正 雄
 理 事 長 葛 谷 文 男
 名古屋市千種区今池一丁目8番4号
 TEL (052) 732-2200

●トータル・ヘルス・プロモーション・プラン (T・H・P)
 ●作業環境測定 ●各種検診業務
 財団法人 **岐阜県産業保健センター**
 理事長 籠 橋 久 衛
 多治見市東町1丁目9番地の3
 TEL(0572)22 0115

(社福) **聖隷福祉事業団**
聖隷健康診断センター
 所長 大 條 浩
 〒430-0906 浜松市住吉2丁目35-8 TEL(053)473-5501

(社福) **聖隷福祉事業団**
聖隷予防検診センター
 所長 臼 田 多 佳 夫
 〒433-8558 浜松市三方原町3453-1 TEL(053)439-1111

健診健康総合サービス
(財)全日本労働福祉協会東海支部
 支部長 福 島 忠 良
 〒457-0044 名古屋市南区柵下町2-4 TEL(052)822-2525



地方会理事会

平成10年度第3回理事会

日時：平成10年9月8日（火）
場所：名大医学部鶴友会館2階大会議室
出席28名、委任状48名

- 1. 報告事項
事務局からの報告事項（柴田） 本部からの報告事項（島・竹内）
2. 協議事項
平成10年度東海地方会学会（竹内・鎌田） 地方会役員改選（山田）

平成10年度第4回理事会

日時：平成10年11月17日（火）
場所：名大医学部鶴友会館2階大会議室
出席33名、委任状39名

- 1. 報告事項
事務局からの報告事項（柴田） 本部からの報告事項（島・竹内） 平成10年度東海地方会学会（祐田） 地方会役員選挙結果（山田）
2. 協議事項
地方会長推薦理事・監事の提案（竹内） 地方会ニュース45号（吉田） 中央役員選挙日程（竹内） 平成11年度東海地方会学会（竹内）平成9年度東海地方会誌（山田） 日本産業衛生学会70周年記念誌（島）

編集後記

明けましておめでとうございます。私事で恐縮ですが、昨年4月に医学部公衆衛生から医学部保健学科に移りました。場所は、鶴舞を離れ、名古屋ドーム傍らの大幸キャンパスになります。新しい学生を迎えたところで、また新任教官も多く、教官学生ともに初々しい意欲が感じられます。私も気分新たに教育・研究に励んでいるところです。学生の中からは、産業看護婦や産業保健婦を目指す人も生まれてくるかと思いますが、4年生大学の卒業生として恥じない人材を育成しようとの意気込みですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（榊原 久孝）

次回発行 平成11年5月1日
編集責任者 吉田 勉（藤田保衛大）
編集委員（五十音順）

- 井谷 徹（名市大） 市原 学（名大）
岩井 淳（全日本労働福祉協会） 大久保浩司（東芝四日市）
加藤 保夫（岐阜県産業保健センター） 鎌田 隆（本田技研浜松）
後藤 猛（労働衛生コンサルタント） 五藤 雅博（旭労災病院）
榊原 久孝（名大） 高柳 泰世（本郷眼科）
巽 あさみ（藤田保衛大） 谷脇 弘茂（藤田保衛大）
松本 忠雄（刈谷保健所） 山田 琢之（愛知医大）

(医) 宏潤会大同病院
理事長 石原 晃
院長 西脇 洋
〒457-8511 名古屋南区白水町9番地 TEL(052)611-6261
(財)東海検診センター
理事長 宮崎 勘治
診療所長 斉藤 俊二
〒410-0003 沼津市新沢田町8-7 TEL(0559)22-1157 FAX(0559)23-5078
名古屋市医師会協同組合
名古屋市医師会健診センター
理事長 高澤 嘉人
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目4番38号 TEL(052)937-8460 FAX(052)937-8402
医療法人 日本生命ヘルスコンサルタント
所長 夏田 洋幹
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-27-2 日本生命笹島ビル6F TEL(052)582-0751 FAX(052)582-6968
社団法人 半田市医師会健康管理センター
所長 榊原 幹雄
〒475-8511 半田市神田町1-1 TEL(0569)27-7881
財団法人 三河保健予防協会
理事長 由利 卓也
〒442-0013 豊川市大堀町77番地 TEL0533-86-1515

医療法人 九愛会
中京サテライトクリニック
理事長 宮嶋 忍
〒470-1121 愛知県豊明市西川町島原6番地の7 TEL(0562)93-8225(代) FAX(0562)93-0938
(医) 豊昌会
豊田健康管理クリニック
理事長 加藤 昌平
〒473-0907 豊田市竜神町新生155番地 TEL(0565)27-5550 FAX(0565)27-5036
医療法人 名翔会
名古屋セントラルクリニック
〒457-0047 名古屋南区城下町3丁目14番地 TEL(052)821-0900(代) FAX(052)824-0655
(財) 日本予防医学協会 名古屋出張所
健康フォーラム名古屋談話室
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 TEL(052)931-0526 FAX(052)932-7092
本田技研工業株式会社 浜松製作所
所長 吉村 方宏
〒433-8501 浜松市葵東1丁目13-1 TEL(053)439-2111
介護用品のデパート
ヤガミホームヘルスセンター
〒460-0012 名古屋市中区千代田2-16-30
☎(052)251-6670 YAGAMI

謹賀新年

平成十一年元旦